

問 児童・生徒の安全対策を問う

答 地域ぐるみで活動の展開を

松井 甫 議員

問 近年、全国各地で小学校の低学年を狙った凶悪で非道な犯罪が激増しています。生命の尊厳を無視した行動は断じて許してはなりません。宍粟市としても、要は犯罪を起こさせない体制をつくる事が必要です。次のことについて具体的に伺う。先ず、各教室での予防対策は十分か、次に教室から職員室への緊急連絡体制と非常時の施設整備の現状は、次に児童・生徒の防犯ブザーの保有の事態を伺う。次に児童・生徒の登下校路の道順や整備状況は、次に子供を守る防犯グループの結成や活動の状況は、最後にこどもを守る110番の家の現状を問う。

教育長 予防対策として、誰もが来校者と不審者とを区別する工夫をしています。次に職員室への緊急連絡網は、大規模改修時等に整備を行う。次に防犯ブザーの保有は低く早急に全児童・生徒に着用を図る。次に登下校路は毎年危険箇所等の点検もしている。次に市内で様々な防犯グループが結成され、活動の輪を広げている。最後にこどもを守る110番の家は見直し等を行っています。



問 若者の定着を促す施策について

答 農林業・観光等で定着を図る

岸本 義明 議員

問 高校卒業生の8割が市外へ出ており、市外への進学者に対して市内の家庭から毎年20億円も出ていっている。市内に専門学校を誘致すること、地域産業の振興を図りリターンを促し若者の定着を図る施策こそが、人口減少・少子化問題等の多くの課題を解決する最重要課題である。市長は施策方針で「活力ある産業が支える豊かなまちづくり」を掲げ「実効性ある産業育成策を企画し実行する」と言っているが、どのような指示をし、どんな取組みをしているのか。また雇用の場の確保を謳いながら、ハローワーク任せにしている。適職探しのための

市長 人口減少は宍粟市にとって重要な課題なので、その対策として、農林業再生、観光ネットワーキングを進め、雇用の場の創出に取り組む。また、家から通える職場としてテクノにも期待している。

産業部長 農林業・観光の施策について市長より指示を受け、予算に計上された項目を確実に実行していく。

助役 ハローワークの事業は国の事業だが、協議して一緒にやっていきたい。

問 国体後の街づくりは

答 宍粟市アピールの好機

藤原 憲男 議員

問 戦後間もなく始まった国体はスポーツを通して今日の日本の繁栄に貢献した。概ね目指す所を達成したとも云われる。2順目に入り、開催方法や選手の強化対策、経費の増高等も含め、今後の国体の意義を何処にどう求めるかを探る動きもみられる。本市に於いても正式競技を招致した以上成功させなければならぬのは当然だ。担当職員の努力で市民も盛り上がりつつある。問題は大会終了後だ。先ず、専任している7名の職員はどう処遇し配置するのか。又、相当の強化策をした競技は宍粟の特色あるスポーツとして継続し育成できるのか。

市長 本市の自然を含め全国にアピールする良い機会だ。民泊や花づくりなど市民の一体感も生まれる。各地との交流も盛んになると思う。銃剣道は伊和高中に継続を期待する。カヌー競技は引原ダム湖の湖岸利用も含めて考えたい。職員は残務整理後、事業の必要性に応じ適材適所に用いる。

